

業務状況説明書(水道事業)

(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)

1. 令和7年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア. 業務

区分	令和6年度 上半期	令和7年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
給水戸数 (戸)	10,603	10,593	△ 10	99.9%
有収水量 (m³)	1,272,795	1,247,187	△ 25,608	98.0%

イ. 建設改良事業

○5,000千円以上の発注済工事

(単位: 円・税込)

工事名	工事費	備考
なし		

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

(単位: 円・税込)

科目	現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	水道事業収益	585,634,000	285,306,789	48.7%
	営業収益	504,631,000	250,177,776	49.6%
	営業外収益	81,001,000	35,129,013	43.4%
	特別利益	2,000	0	0.0%
支出	水道事業費用	575,361,000	223,723,727	38.9%
	営業費用	530,730,000	206,398,327	38.9%
	営業外費用	39,530,000	17,310,580	43.8%
	特別損失	101,000	14,820	14.7%
	予備費	5,000,000	0	0.0%

イ. 資本的収入及び支出

(単位: 円・税込)

科目	現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	141,484,000	48,587,674	34.3%
	企業債	66,756,000	0	0.0%
	出資金	48,588,000	48,587,674	100.0%
	工事負担金	1,100,000	0	0.0%
	国県補助金	25,039,000	0	0.0%
	固定資産売却代金	1,000	0	0.0%
支出	資本的支出	324,582,000	109,346,320	33.7%
	建設改良費	111,486,000	5,733,972	5.1%
	企業債償還金	208,096,000	103,612,348	49.8%
	予備費	5,000,000	0	0.0%

ウ. 地方債の状況

(単位: 円)

前年度残高	上半期中		上半期残高	備考
	借入額	償還金		
2,696,706,188	0	103,612,348	2,593,093,840	

2. 令和6年度決算の概要

(1) 事業の状況

ア. 業務

区分	令和5年度	令和6年度	比較	
			増減	前年度比
計画給水人口(人)	25,325	25,325	0	100.0%
年度末給水人口(人)	21,908	21,618	△ 290	98.7%
普及率(%)	86.5	85.4	△ 1.1	98.7%
年度末給水戸数(戸)	10,620	10,578	△ 42	99.6%
年間有収水量(m³)	2,525,541	2,489,947	△ 35,594	98.6%
年間総配水量(m³)	3,606,474	3,501,828	△ 104,646	97.1%
有収率(%)	70.0	71.1	1.1	101.6%
日最大配水量(m³)	10,529	10,441	△ 88	99.2%
日平均配水量(m³)	9,854	9,594	△ 260	97.4%
1人1日平均配水量(㍑)	457	444	△ 13	97.2%
1人1日平均有収水量(㍑)	316	316	0	100.0%

イ. 建設改良事業

建設改良工事では、91,288,384円の事業費をもって、施設関係では、三重町下赤嶺加圧場電気設備更新工事、三重町肝煎加圧場他監視装置設置工事、犬飼浄水場テレメータ設備更新工事、大野浄水場水質計器更新工事、大野第2水源取水ポンプ盤インバータ更新工事を実施しました。配水管路については、三重原地区配水管布設工事等を実施しました。

○5,000千円以上の工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
三重町下赤嶺加圧場電気設備更新工事	32,535,800	
犬飼町犬飼浄水場テレメーター設備更新工事	21,450,000	
大野浄水場水質計器更新工事	10,340,000	
三重町肝煎加圧場他監視装置設置工事	11,550,000	
三重原地区配水管布設工事	6,107,200	

(2) 経理の状況

ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、予算額537,025,000円に対し、決算額539,402,792円(うち消費税及び地方消費税額 39,892,195円)で、2,377,792円の増となっています。また、前年度に比べ税抜金額で37,470,483円(△7.0%) の減となっています。内訳として、営業収益で5,100,063円(△1.3%) の減、営業外収益で29,035,626円(△22.9%) の減、特別利益で3,334,794円(△76.2%) の減となっています。

一方、収益的支出は、予算額572,374,000円に対し、決算額549,535,507円(うち消費税及び地方消費税額 27,640,057円)で22,838,493円の残額となっています。また、前年度に比べ税抜金額で3,440,364円の増となっています。内訳として、営業費用で原水及び浄水費7,834,484円(4.4%) の増、配水及び給水費10,083,991円(12.6%) の増、総係費1,984,201円(△5.3%) の減、減価償却費4,707,369円(△2.7%) の減、資産減耗費2,982,830円(△73.9%) の減、営業外費用で企業債利息3,482,483円(△8.7%) の減、特別損失42,300円(△82.5%) の減となりました。

結果、収益的收支で22,384,853円の当期純損失となりました。

(単位:円・税抜)

科目	令和5年度	令和6年度	増減	前年度比	備考
収入	水道事業収益	536,981,080	499,510,597	#####	93.0%
	営業収益	405,834,529	400,734,466	△ 5,100,063	98.7%
	営業外収益	126,769,957	97,734,331	#####	77.1%
	特別利益	4,376,594	1,041,800	△ 3,334,794	23.8%
支出	水道事業費用	518,455,086	521,895,450	3,440,364	100.7%
	営業費用	474,729,228	482,973,303	8,244,075	101.7%
	営業外費用	43,674,558	38,913,147	△ 4,761,411	89.1%
	特別損失	51,300	9,000	△ 42,300	17.5%
	予備費	0	0	0	—

イ. 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額147,065,000円に対し、決算額134,963,336円で、12,101,664円の減となっています。また、前年度に比べて4,208,111円（3.2%）の増となっています。内訳として、企業債で4,900,000円（6.1%）の増、出資金で1,014,351円（2.1%）の増、工事負担金で1,706,240円（皆減）の減となっています。

一方、資本的支出は、予算額330,881,000円に対し、決算額312,693,435円（うち消費税及び地方消費税額8,309,140円）で、18,187,565円の残額となっています。また前年度に比べて税抜金額で3,774,914円（1.3%）の増となっています。内訳として、建設改良費845,828円（0.9%）の増、企業債償還金2,929,086円（1.4%）の増となりました。

（単位：円・税込）

科目		令和5年度	令和6年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	130,755,225	134,963,336	4,208,111	103.2%	
	企業債	80,300,000	85,200,000	4,900,000	106.1%	
	出資金	48,748,985	49,763,336	1,014,351	102.1%	
	工事負担金	1,706,240	0	△ 1,706,240	0.0%	
	固定資産売却代金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	308,866,502	312,693,435	3,826,933	101.2%	
	建設改良費	100,781,749	101,679,596	897,847	100.9%	
	企業債償還金	208,084,753	211,013,839	2,929,086	101.4%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収支差引不足額177,730,099円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,765,413円、当年度分損益勘定留保資金151,327,375円、建設改良積立金20,637,311円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況

（単位：円）

前年度残高	決算年度中		年度末残高	備考
	借入額	償還金		
2,822,520,027	85,200,000	211,013,839	2,696,706,188	